

平成31年2月8日

狭山市教育委員会
教育長 向野 康雄 様

狭山市立入間野小学校
校長 小俣 恵美子

平成30年度 狭山市立入間野小学校学校関係者評価表

※学校が行った自己評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善策について評価する。

※【評価の目安】 A：よくできている(90%) B：概ねできている(75%) C：あまりできていない(60%) D：できていない(60%未満)

領域	NO	項目	教員	児童	保護者	改善策(説明)	学校関係者評価委員から(評価)
学校教育目標	1	児童は、分からないことは質問しながら聞いている。	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> みんなのために考え、自分ができることに意欲的に取り組む児童を育成するために「学級活動(1)」の指導法を学校課題研究として取り組み、成果を上げた。今後も取組を継続する。 「家庭学習の手引き」を利用しやすいように改良し、学習内容を紹介する等、啓発する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育目標の実現へ向け、きめ細かい対応をしており、非常に高く評価する。 みんなのためにも自分が行動することの大切さを教えていることが、社会に巣立つ上で大切である。 家庭学習の手引きの修正や、内容の紹介等改善策が効果的である。 緊急時の行動の理解等指導の賜物である。
	2	児童は、文字を丁寧に書いている。	B	B	B		
	3	児童は、進んで家庭学習に取り組んでいる。	B	B	B		
	4	児童は、自分から目を見て挨拶している。	B	A	B		
	5	児童は、丁寧な言葉づかいをしている。	B	B	B		
	6	児童は、集団のために活動している。	B	B	B		
	7	児童は、あきらめずに最後まで取り組んでいる。	B	B	B		
	8	児童は、進んで運動に取り組んでいる。	B	A	B		
	9	児童は、いざという時の行動の仕方が分かっている。	B	A	B		
学校運営	10	職員は、意図的・計画的に学年・学級経営を進めることができた。	B			<ul style="list-style-type: none"> 低・中・高学年でのブロック研修が教員の資質向上に効果的であった。今後も、風通しのよい職場、「チーム入間野」を継続していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 報告・連絡・相談が徹底しており、意欲的に職務遂行している。 職員同士が相談し合える雰囲気はとても大切である。「チーム入間野」の継続を望む。
	11	職員は、校内研修に意欲的に取り組み、自己研鑽に努めた。	B				
	12	職員は、報告・連絡・相談を密にし、意欲的に職務遂行に取り組んだ。	A				
学力	13	学校は、計算や漢字などの基礎基本を身に付けさせている。	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 来年度は、4, 5, 6学年の算数科の授業をそろえ、2学級を3コースで学習する。また、3学年には、T・Tを入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> 三者ともに、A評価が高く評価でき、基礎基本をしっかりと身に付けさせている。 少人数指導は効果的。国語にもできないか。
	14	学校は、自ら考える力を付けている。	B	B	B		
規律・心	15	学校は、安心して過ごせるあたたかな学級を作っている。	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 今後も問題や課題の早期発見に努め、課題により担任による教育相談から教育相談部の組織的対応ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶できる児童が多いよい指導効果である。 組織的な対応が心強い。 対応が難しい児童の指導に努力していることが伺え高く評価する。
	16	学校は、規律ある態度を身に付けさせている。	A	A	B		
	17	先生は、困ったときに相談に乗ってくれる。	B	A	B		
健康・体力	18	学校は、体力を向上させるための環境づくりに取り組んでいる。	B	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 上体起こしと投力、握力を向上させる日常的な取組と、体育の授業に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 教員の評価より、児童・保護者の評価が高く、よい結果である。 朝マラソンの取組は効果的。継続を望む。
	19	家庭では、健康診断の結果を子供たちの健康管理に生かしている。	B		B		
環境	20	学校は、美しい環境を保持している。	B		B	<ul style="list-style-type: none"> 同一歩調の清掃指導と校舎内外の美化に取り組む。 安全部の安全点検の方法を見直し、素早く組織的に対応できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> いつ来校しても、清潔で美しい環境が保持できていることが、評価できる。 これからも、美しいものに児童の目が行くような啓発を願う。
連携	21	学校は、教育活動を充実させるため、地域や保護者の支援を生かしている。	B	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 今後も学校応援団の様子を紹介し、参加を呼びかけ、書写の支援活動を継続していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業が充実している。 多くの方との関わりで、地域連携が上手くいつている。「子供は学校と地域で育てる」をモットーとしていきたい。
会計	22	学校は、学年・行事等の会計の処理管理を適切にしている。	A		A	<ul style="list-style-type: none"> 本年度の価格を再度確認し、集金額の訂正を絶無とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 適切に処理されている。 改善策がとてもよいので、お願いしたい。